

第1回安曇野市地域公共交通会議兼安曇野市地域公共交通協議会 会議概要

1	委員会名	安曇野市地域公共交通会議兼安曇野市地域公共交通協議会
2	日 時	平成20年11月14日(金) 午後1時30分～2時10分
3	会 場	長野県安曇野庁舎 401会議室
4	出席者	平林会長、奥山委員、土井委員(代)皆川委員、三村委員(代)岡沢委員、清澤委員(代)竹村委員、久保田委員(代)仁科委員、宮本委員、樋口委員、甕委員、尾台委員、二木茂光委員、小平委員、小平委員、小林忠孝委員、米倉委員、会田委員、山本委員、槇石委員、勝家委員(代)丸山里多委員、曲淵委員、小林忠由委員、小岩井委員、耳塚委員、岡山委員、宮井委員、小山委員、遠藤委員、倉島委員(代)筒井委員、安藤委員(代)中村委員、坂内委員、土肥委員、丸山好夫委員、二木一雄委員、大内委員、 委員以外出席者 松本市牧垣政策課長 市出席者(委員以外) 小倉企画政策課長、猿田課長補佐、白澤係長、中山主任 他 NTT 4名
6	公開・非公開の別	公開
7	記者	5人
8	傍聴	0人
9	会議概要作成年月日	平成20年11月28日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	
(1)	開会	(小倉企画政策課長)
(2)	挨拶	(平林会長)
(3)	議題	(事務局)
		<ol style="list-style-type: none"> 1. 松本電気鉄道株式会社からの不採算バス路線の見直し協議等について 2. 作業部会での取組み状況と中房線の延長について 3. その他
(4)	閉会	(小倉企画政策課長)
2	協議概要	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 松本電気鉄道株式会社からの不採算バス路線の見直し協議等について (事務局より説明) ……資料1、 <資料1「松本電気鉄道株式会社からの不採算バス路線の見直し協議資料」> ※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛 <ol style="list-style-type: none"> a) 資料1に基づき、松本電気鉄道株式会社からの不採算バス路線の見直し協議等について説明がある <ul style="list-style-type: none"> ・経過については、まず4月30日に松本電気鉄道(株)から、一般生活バス路線の見直しについて市へ協議の申し入れがあった。 ・5月1日には安曇野市議会全員協議会にて報告を行った。 ・5月19日には第1回安曇野市地域公共交通協議会幹事会にて説明を行った。 ・7月29日には、バス路線廃止時期を12月15日とすること等について、松本電気鉄道(株)より市に申し入れがあった。 ・10月3日に松本市及び松本電気鉄道(株)より提案があり、10月14日には松本市長より安曇野市長宛に協議の申し入れがあった。 ・10月8日には第2回幹事会にて意見交換を行った。 ・10月9日には明科地域審議会、10月15日には三郷地域審議会、10月27日には豊科地域議会にそれぞれ説明を行った。 ・11月4日には安曇野市議会全員協議会に報告を行った。 ・10月14日の松本市からの協議申し入れ内容は、立田線については、松本バスターミナルから薬師堂前間を廃止し、八景山から一日市場駅間を代替路線としてルートを変更するものである。 	

- 運賃は松本電鉄株の規程によるものとし、実施予定時期は平成 20 年 12 月 16 日からとしたい。
- ・会田線の廃止提案区間はないが、これまで平日往路 8 便、復路 7 便であったものを、保福寺下町から明科駅間を 1 往復運行に変更したいとの申し入れである。運賃は現在調整中であり、実施予定時期は平成 21 年 1 月以降としたい。
 - ・立田線の運行に伴い安曇野市内の一日市場駅前に乗り入れられることになるが、対応期間は平成 21 年度末までであり、21 年度中に利用状況の調査などを行いながら運行の継続の可否や、他の方法を含めて見直す予定であるとのことであるため、市内バス停は一日市場駅前のみとさせていただく。
 - ・松本市ではこれらの路線を協議路線としているが、安曇野市としては、今後変更される場合などにはその都度松本市から提案をいただき、ご相談させていただきたいと思っている。
 - ・会田線をスクールバスとして使っている児童生徒がいるという実態があるので、安曇野市教育委員会としては、1 月から別途スクールバスを運行する予定である。

平林会長 : ただ今事務局より説明がありましたが、松本市様、松本電鉄株様より補足がありましたらお願いいたします。

松本市 : この度松本電鉄株様よりバス路線廃止提案を受けまして、梓川地区住民等の交通手段を確保するという取らせていただきます応急的な処置です。平成 21 年度に利用状況調査を行いまして、運行の継続の可否も含め、対応を検討することになっております。バスですから利用することが大前提ということで、もしご理解を得られましたら、安曇野市の皆様にも是非乗っていただければと思っています。安曇野市民の皆様にはなるべくご迷惑をかけないように努めますので、是非一日市場駅前へのバスの乗り入れ及び立田線の運行、明科駅からの会田線の運行につきましてご理解を賜りますようお願いいたします。

小林忠由委員 : 安曇野市様、松本市様より先程説明のあった通りであります。民間企業の自主営業路線として厳しい状況の中、このような方向性を出させていただきました。平成 21 年度中、変更を含めた中での営業だと思っておりますので、なにとぞご理解をいただければ幸いです。

平林会長 : ただ今説明がありましたが、皆様方から何かご意見、ご質問等ございましたらご発言をお願いいたします。

耳塚委員 : 松本市さんが安曇野市内にバスを乗り入れるということで、地元の業者としては何とも言えない部分がありますが、市内にはバス停を作らないということですし、梓川の皆さんの交通手段を確保するという点ですので、認めていかざるを得ないと思います。お願いがあるのですが、一日市場駅前は大変狭い場所です。また、子供たちを迎えに来る自家用車などで今でさえ大変混雑しております。駅周辺の安全確保という点には是非気をつけていただきたいと思います。また、我々は今「あづみん」等の運行を受けさせていただいているのですが、将来的には松本市市内にまで運行が延びるのではないかとというような気もしておりますので、その節には快く賛成していただけますよう、地元の業者としてお願いいたします。

平林会長 : ご希望、ご要望として受け止めておきたいと思っております。他に何かございますか。特段ないようですので、ただ今説明がありました事柄につきましてご賛同いただける方の挙手をお願いいたします。
ありがとうございます。全員の挙手によりましてご承認いただいたということで決定させていただきます。本日付で同意書を松本電鉄株宛に出したいと思っております。

2. 作業部会での取り組み状況と中房線の延長について（事務局より説明） … 資料 2

< 資料 2 「安曇野市地域公共交通協議会作業部会検討状況」 >

※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

a) 資料 2 に基づき、安曇野市地域公共交通協議会作業部会での検討状況が報告される。

- ・これまでの検討の途中経過の報告と、来年度から中房線をスイス村まで延長したいという提案である。

- ・「安曇野の里観光センター」の設置案については、市を観光の面で更に活性化するべく安曇野市タクシー運営協議会より提案のあったものである。
- ・センターの必要性は、安曇野市の統一的な観光戦略、山岳観光の自家用車対策、大王わさび農場周辺の道路の渋滞、観光情報の不足等から考えられる。
- ・内容は、安曇野の里といった市の中心地に観光センターを設置するというもので、そこを中房線の始発駅とし、タクシー乗場を設け、観光インフォメーションセンターを誘致するという総合的なものである。
- ・検討していく中で見えてきた課題として、計画の対象者が曖昧であること、駐車場が不足していること、高速バス停留所を誘致するためには相応の施設を設置する必要があること、施設整備には時間もお金もかかること、関係者が一丸となって総合的に対応する必要があることなどがある。
- ・まず当面できることから始めることが重要であるとして、関係者の理解を得ながら、現在穂高駅が始発となっている中房線を安曇野の里や高速バス停等まで延長する方法を検討し、できれば来年の4月から行っていきたい。
- ・現在の中房線の運賃は、穂高駅から1610円である。
- ・安曇野の里や高速バス停等を「あづみん」の共通乗り合いポイントにしたり、しゃくなげ荘や穂高支所の既存駐車場をパークアンドライドに活用したり、観光周遊バス等と連携したりといったことが当面の検討すべき課題として挙がっている。現在でもしゃくなげ荘登山者用駐車場を約50台分、穂高支所職員駐車場を約30台分をパークアンドライド的に利用しているが、今後更に活用していく方法を検討する必要があるのではないかということである。
- ・更に議論や検討が必要であるが、安曇野市の観光利用交通システムをどうするのかといったことがある。ホームページの活用やポイントシステムの導入、新たな移送サービスの構築などが検討課題である。
- ・観光情報も、穂高エリア以外のものはホームページが整備されておらず、渋滞情報や駐車場の空き情報などもタイムリーなものが見られないなどの課題がある。
- ・中房線をスイス村まで延長することにより、これまで課題の一つとなっていた市外移動や観光客対応も一部可能になると期待している。運行は安曇野市タクシー運営協議会の中で相談しながら計画を進めたいと聞いている。来年度より本格的に運行を開始するためには、国土交通省への申請手続きが2月頃には必要とのことであるので、具体的な運賃等については、作業部会の中で議論するというご承知いただきたい。

平林会長 : ただ今事務局より説明がありましたが、タクシー運営協議会様の方で補足等ありましたらお願いいたします。

小岩井委員 : この考えの最終目標はやはり地域の活性化です。今までは路線バス、高速バス、デマンド交通はそれぞれ独立した中での運行をしていましたが、やはりそれぞれが刺激しあい、乗り換えや乗り継ぎをしてもらわなければ、地域の活性化はできないと思います。交通が地域の活性化の根幹を担うという認識の中で、このような案を出させていただきました。

平林会長 : ただ今事務局並びにタクシー運営協議会様の方から説明がありましたが、皆様方から何かご意見がありましたらお願いいたします。

特によろしゅうございますか。まだまだ課題もたくさんございますので、逐一解決しながらということではありますが、ただ今の提案につきましてご賛同いただける方の挙手をお願いしたいと思います。

ありがとうございました。全員の皆様からの承認をいただきました。

3. その他について (事務局より説明)... 資料3

<資料3「あづみん及び定時定路線利用状況一覧表」>

※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

a) 資料3に基づき、あづみん及び定時定路線の利用状況が報告される。

- ・ 昨年9月10日からこの9月9日までの1年間に、運行日が246日あった。
- ・ 昨年9月の1日平均利用者数は188.7人であったが、今年9月は367.9人となり、ほぼ倍

増している。

- ・利用者のご理解をいただきながら、使い方にも慣れてきていただけたのが理由だと思われる。
- ・利用者の約 8 割が女性であり、70 歳以上の高齢の方が 7 割近くを占めていた。
- ・利用料金の割合は、100 円の方が約 3 割であった。
- ・この 1 年間に最も利用した方は 437 回の利用があり、ほぼ毎日往復で使っていただいている。

平林会長 : 折角の機会ですので、議題にとらわれず、公共交通につきまして何かありましたらご発言をお願いしたいと思います。

特によろしゅうございますか。スムーズな進行にご協力をいただきありがとうございました。また様々な問題、課題等出てくるかと思いますが、知恵を出し合ってよい方向へ持っていくことができればと思っております。これを持ちまして本日の議長の責務を終わらせていただきます。大変ありがとうございました。

事務局 : 皆様方には本日慎重にご議論いただきありがとうございました。以上をもちまして本日の会議を終わらせていただきたいと思います。

以上